

地域に根差した防災対策と訓練



【大森学区】

■世帯数：3,707 世帯

■人 口：8,769 人

■面 積：1.459 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- 学区全体で行う自主防災訓練に加え、全 18 町内を5つのブロックに分け、毎年ブロックの実情に合った自主防災訓練を行っている。延べ参加者数は約 420 人。
- 3カ年計画で各ブロックに防災倉庫を設置し、レスキューセット等防災備品の充実を図ってきた。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

町内7ヶ所の公園に防災倉庫を設置し、災害時必要最小限と思われる備品（大ハンマー、折りたたみのこぎり、ロープ、カッター、バール、簡易担架となる毛布・竹、ラジオ、拡声器、レジャーテント等）を備えている。

2 きっかけ、背景

近年、たびたび起こる大震災に対し、学区の防災意識と備えが具体性に欠け、とても十分とは考えられないものであった。このような状態では、万一の時に何も対応することができないのではないかという思いから、実践的な自主防災訓練を開始した。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
消防団員、大森防災ボランティア
計約 80 人

(2) 他団体との協力

大森消防団、大森防災ボランティア

(3) 運営協力

大森消防団団員のノウハウを生かした指導助言を受けた。また、「くらしの防災セミナー」受講修了者が防災ボランティアとして活動している。

4 実施のスケジュール

H16～18年 3カ年計画で各町内防災倉庫及び防災備品の設置

H23年4月 5ブロック町内自主防災訓練日程調整、今尻町・脇田町合同自主防災訓練（初期消火、ケガの手当て）

6月 大森一丁目（3町内）藪田町合同自主防災訓練（心肺蘇生法、AED）

11月 学区自主防災訓練、大森二丁目（3町内）合同自主防災訓練（炊出し、初期消火）

H24年1月 大森三丁目（2町内）・四丁目（3町内）合同自主防災訓練（倒壊家屋からの救出、AED）

2月 元郷一・二丁目・大森西東住宅合同自主防災訓練（心肺蘇生法、AED）

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 防災を身近な問題として取り組めた。
- ・ あいさつ程度の近所づきあいだったが、関係が深まった。
- ・ いざという時の備えを学んだ。

(2) 苦労した点

- ・ 回覧だけの案内では参加者が少ないので、組長からの声かけをお願いした。
- ・ 一人ひとり、技術に習熟する時間が少ない。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 毎年の訓練実施のため、訓練内容に工夫が必要。
- ・ 子どもも一緒に参加できる訓練を取り入れ、参加しやすい環境づくりが必要。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 現在のところ特に行っていないが、他学区からの問い合わせがあれば協力したい。

